

社団法人 建設荷役車両安全技術協会 考案賞

H19 銀賞	考案の名称	大型フォークリフト用フロントハブ脱着吊り具	支部名	新潟県
			会員名	北越TCM(株)

考案の動機

大型フォークリフトのホイール及びハブは非常に重く、その脱着は取付け位置、構造との兼合いで大きな労力（人、時間）と危険を伴う作業になっていた。

- ① タイヤの下にグリースを塗った鉄板を敷き引っ張り出す。
- ② タイヤを外し、ハブ単体にして引っ張り出す。

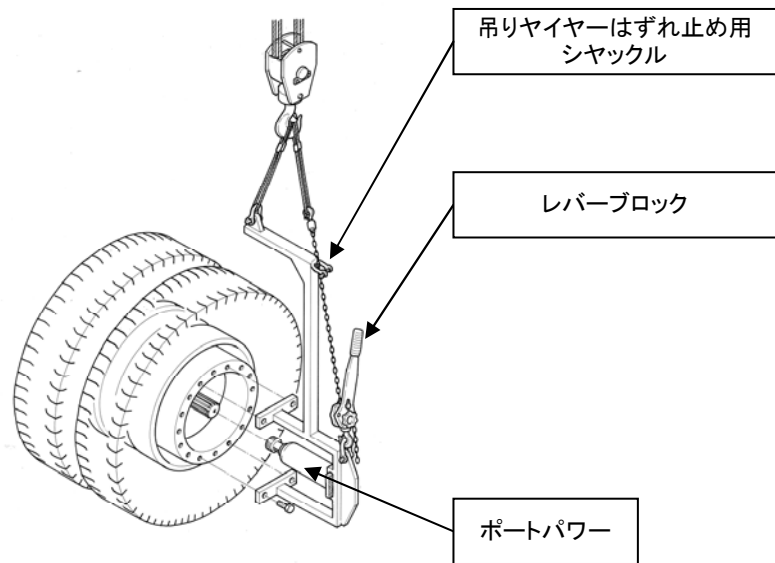
考案の内容

タイヤ、ハブセットで抜けるよう吊り具（ポートパワー取付け可能）を作った。

- ① ベアリングが固いときはポートパワーをセットして引き出す。
- ② 芯出しの容易化（レバーブロック取付）
- ③ トラック搭載クレーンの使用により人力を省く。（添付図を参照）



大型フォークリフト用フロントハブ脱着吊り具



フロントハブに治具を装着した図



ポートパワーを使用する時



ハブを取り付けた時、水平になるように、治具の中心がハブの中心の内側になるように製作した。

レバーブロックは水平度を出す微調整に使用する。

効果

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> ① クレーンによるタイヤ及びハブセットでの取外し
ポートパワーの使用
〔ブレーキライニング交換作業：4人/日→2人/日〕 ② ハブベアリング、オイルシールの芯出し | <p>⇒ 作業時間の短縮</p> <p>⇒ 作業精度の向上（シール損傷の防止）</p> |
|--|---|